函館市林業研修生インターンシップ宿泊費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 函館市林業研修生インターンシップ宿泊費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、函館市補助金等交付規則（昭和62年函館市規則第43号）の定めによるほか、この要綱の定めるものとする。

(目的)

第2条 補助金は、次条第1項第1号に定める林業研修生に対し、就業体験実習（以下「インターンシップ」という。）に要する費用の一部を補助金として交付することにより、新たに林業に従事する担い手の本市への移住を促すとともに、適切な森林管理と森林資源の利活用を図ることを目的とする。

(定義)

第3条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 「林業研修生」とは、現に北海道立北の森づくり専門学院、およびこれに類似する学校に在籍している学生をいう。

(2) 「林業事業体」とは、函館市に本社または本店を有し、北海道林業事業体登録実施要綱（平成24年8月27日林業木材第651号）の規定により登録している事業体をいう。

(補助対象者)

第4条 北海道立北の森づくり専門学院、およびこれに類似する学校が定めた短期または長期のインターンシップに参加する林業研修生をいう。

(補助対象経費)

第5条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、林業研修生が林業事業体においてインターンシップに参加するため、インターンシップの前日から終了の日までの間に、函館市内の宿泊施設での宿泊に要する費用（食事代を除く。金券付きプランの場合

は金券額面相当額を除く。)の実費とする。

- 2 補助金は、予算の範囲内において交付するものとし、補助対象経費の2分の1以内とする。ただし、1泊あたり5千円を上限とする。

(補助金の交付の申請)

第6条 補助金の交付を受けようとする者は、補助金交付申請書(別記第1号様式)に学生証の写し、および宿泊施設の予約内容が分かる書類(宿泊施設名、宿泊料、食事の有無など)を添付して、市長に提出しなければならない。

(補助金の交付の決定の通知)

第7条 市長は、補助金の交付の申請があったときは、当該申請に係る書類の審査により、補助事業の内容が適正であるかどうかを調査し、補助金を交付すべきものと認めるときは、補助金の交付を決定し、補助金交付決定通知書(別記第2号様式)により、申請のあった林業研修生に通知するものとする。

(補助金の交付)

第8条 補助金は、第10条の規定による補助金の額の確定後において交付するものとする。

(実績報告)

第9条 林業研修生は、インターンシップが終了した日の翌日から起算して30日以内に、補助事業実績報告書(別記第3号様式)に研修日報等(別記第4号様式)を添付し、市長に提出しなければならない。

(補助金の額の確定等)

第10条 市長は、研修日報の内容についてインターンシップを受け入れた林業事業体に確認するなど、提出された書類を確認し、補助金の交付の決定の内容に適合するものであるかどうかを審査し、適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定する。

- 2 市長は、前項の規定により補助金の額を確定したときは、その額を補助金の額の確定通知書(別記第5号様式)により、申請のあった林業研修生に通知するものとする。

(補則)

第 11 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は，別に定める。

附 則

この要綱は，令和 7 年 4 月 1 日から施行する。